



授業科目名	地域づくりとデザイン・イメージ・サイエンス		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	北村 元成 ・ 神田 孝治 ・ 尾久土正己		
実施日・時間	6月5日(金) 17:30~20:40 (北村 元成)		
	6月6日(土) 9:30~15:00 (北村 元成)		
	6月12日(金) 17:30~20:40 (神田 孝治)		
	6月13日(土) 9:30~15:00 (神田 孝治)		
	6月19日(金) 17:30~20:40 (尾久土正己)		
	6月20日(土) 9:30~15:00 (尾久土正己)		
北村 担当 分	<b>【講義内容】</b> 私たちの身の回りにはデザインがあふれている。人が創り出したものは、モノであれコトであれ空間であれ、何らかの意図に基づいて生み出されたものであり、それはデザインされたものといえる。この講義では観光や地域に関わる様々なものをデザインという視点で見つめ直し、普段何気なく眺めている景観や建築、広告や商品の色や形について考察を進める。(6日の午前中は田辺駅前にてフィールドワークを行います)		
	<b>【テキスト・教材】</b> 講義内容に関するレジユメを適時配布します。		
	<b>【事前学習】</b> 自身の興味のある観光地を一つ選んで、そことイメージの関係性について考えてきてください。		
神田 担当 分	<b>【講義内容】</b> 地域づくりには、そこに如何なるイメージを喚起するのかということが大きなポイントの一つになります。特に、観光振興を想定した地域づくりに際してはイメージの問題は非常に重要です。そこで本講義では、観光が密接に関連する地域づくりに、これまでどのようにイメージの問題が関係してきたのかを、近代のリゾートや国立公園、そして現代の世界遺産といった事例を参考に検討します。		
	<b>【テキスト・教材】</b> 講義内容に関するレジユメを適時配布します。		
	<b>【事前学習】</b> 自身の興味のある観光地を一つ選んで、そことイメージの関係性について考えてきてください。		
尾久土 担当 分	<b>【講義内容】</b> 地域づくりを考えると、科学というキーワードを取り上げる地域はほとんどありません。我が国ではまだ少数ですが、科学館や博物館、また動物園や水族館のような科学系の施設が多くの入館者を集め、地域経済に波及効果を与えている例もあります。また、美しい自然景観は大切な地域の資源ですが、その活用に科学的な視点が不足しています。さらに、温暖化などの環境問題が叫ばれる今、地域づくりに科学的な視点がなくして未来を考えることもできません。そこで、本講義では、地域を科学(サイエンス)の視点で捉え直し、科学的な物事の考え方を如何に身につけるかについて紹介します。		
	<b>【テキスト・教材】</b> 講義内容に関するレジユメを適時配布します。		
	<b>【事前学習】</b> 地域にある自然科学をテーマにした生涯学習施設を見学しておきましょう。		